

履修に関する注意事項（2018 年度以前入学学生向け）

- ※ 「〇〇年度以前／以降に入学」とは、〇〇年度に入学した学生を含むことに注意する。学籍番号の先頭の 4 桁が入学年度である。
- ※ 卒業要件は入学時に配布された「入学年度の履修要覧」に準拠する。ただし編入学者等は、自身の編入時の標準的な同級生と同じ履修要覧が適用される（履修要覧に定められた「入学許可年次に適用される教育課程等で定められている年度」参照）。
- ※ 2021 年度から一部の専門科目・専門基礎科目の開講時間に変更になっている。
- ※ 開講される曜時限が重複する科目は、講義の実施形態（対面、オンライン（オンデマンド型）など）にかかわらず、同時に履修登録することはできない。
- ※ 2023 年度以降に履修する単位数のうち、オンライン授業科目の単位数が 60 単位を超えないように注意すること。
- ※ 工学システム学類開設の科目については、2018 年度以前入学学生向けに開講されている科目を、原則として履修すること。

1 総合科目Ⅱ・Ⅲの履修について

2015 年度以降に入学した学生より総合科目Ⅲ（1 単位）が必修となり、これを 3 年次に履修することとなっていたが、今年度から総合科目Ⅲは廃止されたため、3・4 年次向けの学士基盤科目の単位修得をもって総合科目Ⅲの単位を修得したものとみなす。

総合科目Ⅱは2020年度より廃止されている。一部の専門導入科目の単位を履修することで総合科目Ⅱの単位を修得したものとすることができる。詳しくは開設授業科目一覧を参照すること。

専門導入科目、学士基盤科目ともに事前登録が必要となるので、注意すること。

2 専門基礎科目必修科目の履修について

前年度までに専門基礎科目必修科目の単位を未修得の学生は、今年度次のように当該科目の内容を履修する。

○ **同内容の科目の単位を修得する科目**

線形代数 A (3 単位) : 「線形代数 1」(1 単位), 「線形代数 2」(1 単位) および
「線形代数 3」(1 単位)

線形代数 B (3 単位) : 「線形代数総論 A」(1 単位) および
「線形代数総論 B」(2 単位)

解析学 I (2 単位) : 「微積分 1」(1 単位) および「微積分 2」(1 単位)

解析学 II (2 単位) : 「微積分 3」(1 単位) および「解析学総論」(1 単位)

解析学 III (2 単位) : 「常微分方程式」(2 単位)

力学 I (2 単位) : 「力学 1」(1 単位) および「力学 2」(1 単位)

力学 II (2 単位) : 「力学 3」(1 単位) および「力学総論」(1 単位)

電磁気学 I (2 単位) : 「電磁気学 1」(1 単位) および「電磁気学 2」(1 単位)

上記左側に示す専門基礎科目の単位は、右側に示す同内容のすべての科目の単位を修得することによって、修得したものとみなす。 右側に示す同内容の科目のうち、線形代数 1～3, 微積分 1～3, 力学 1～3, 電磁気学 1, 2 は 2020 年度入学生向けの**専門導入科目**であり、事前登録が必要になる。

3 専門科目必修科目の履修について

前年度までに下記の専門科目必修科目の単位を未修得の学生は、今年度は次のように当該科目の内容を履修する。

○ **知的工学システム主専攻, 機能工学システム主専攻**

複素解析 (FG20144, FG30144) :

所属する主専攻の科目番号の科目を履修登録し, 「複素解析」 (FG10784 または FG10794, 春 AB 月 12) の一方を履修する。

プログラミング序論 A (FG20184, FG30184) :

所属する主専攻の科目番号の科目を履修登録し, 「プログラミング序論 A」 (FG10874, 春 AB 水 12) を履修する。

プログラミング序論 B (FG20194, FG30194) :

所属する主専攻の科目番号の科目を履修登録し, 「プログラミング序論 B」 (FG10884, 春 C 水 12) を履修する。

電気回路 (FG20151, FG30151) :

所属する主専攻の科目番号の科目を履修登録し受講する。「電気回路」(FG17011, 秋 BC 木 56) と同じ教室で開講される。

知的工学システム基礎実験 A (FG29193), 知的工学システム基礎実験 B(FG29203) :

当該科目を履修登録して受講する。それぞれ, 工学システム基礎実験 A (FG19103), 工学システム基礎実験 B(FG19113) と同じ教室で開講される。

機能工学システム基礎実験 A (FG39193), 機能工学システム基礎実験 B(FG39203) :

当該科目を履修登録して受講する。それぞれ, 工学システム基礎実験 A (FG19103), 工学システム基礎実験 B(FG19113) と同じ教室で開講される。

知的工学システム専門実験(FG29173), 知的工学システム応用実験(FG29183) :

当該科目を履修登録して受講する。ともに, 知的・機能工学システム実験と同じ教室で開講される。

機能工学システム専門実験(FG39173), 機能工学システム応用実験(FG39183) :

当該科目を履修登録して受講する。ともに, 知的・機能工学システム実験と同じ教室で開講される。

○ 環境開発工学主専攻, エネルギー工学主専攻

計算機序論(FG40344, FG50434) :

所属する主専攻の科目番号の科目を登録し,「プログラミング序論 A」(FG10894, 春 AB 金 12)を履修する。

電磁気学Ⅱ (FG40161, FG50161 (2019 年度の番号)) :

専門導入科目「電磁気学 3」(1 単位)と「電磁気学総論」(1 単位)の単位を修得することで, 電磁気学Ⅱ (2 単位)の単位を修得したものとみなす。電磁気学 3 は専門導入科目であるため事前登録が必要である。

確率統計 (FG40141, FG50141) :

所属する主専攻の科目番号の科目を登録し履修する。「確率統計」(FG17031, 春 AB 金 34) と同じ教室で開講される。

環境開発工学基礎実験 A (FG49583), 環境開発工学基礎実験 B(FG49593) :

当該科目を科目登録して履修する。それぞれ, 工学システム基礎実験 A (FG19103), 工学システム基礎実験 B(FG19113) と同じ教室で開講される。

エネルギー工学基礎実験 A (FG59583), エネルギー工学基礎実験 B(FG59593) :

当該科目を科目登録して履修する。それぞれ, 工学システム基礎実験 A (FG19103), 工学システム基礎実験 B(FG19113) と同じ教室で開講される。

環境開発工学専門実験 (FG49843) , エネルギー工学専門実験 (FG59843)

当該科目を履修登録して受講する。ともに、エネルギー・メカニクス専門実験と同教室で開講される。

環境開発工学応用実験 (FG49863) , エネルギー工学応用実験 (FG59863)

当該科目を履修登録して受講する。ともに、エネルギー・メカニクス応用実験と同教室で開講される。

なお、必修科目ではないが、複素関数 II の単位未修得学生向けに、今年度は次の措置も合わせて行う。

複素関数 II (FG44131, FG54131) :

所属する主専攻の科目番号の科目を登録し、「複素解析」(FG10784 または FG10794, 春 AB 月 12) の後半の内容を履修する。「複素解析」の初回の授業で行われるガイダンスに出席し、複素解析の講義の全容を把握すること。

4 主専攻振り分けについて

主専攻が決まっていない者の主専攻振り分けは、今年度春学期終了時に行う。主専攻へ進める要件(選択要件)は履修要覧理工学群履修細則別表第 2 の記載に関わらず下記のようにする。

「専門基礎科目の必修科目 8 単位以上および工学システム基礎実験 A 2 単位を含む、合計 10 単位以上を修得していること。」

各主専攻の基礎実験を未修得の学生には、履修要覧理工学群履修細則別表第 1 の記載に関わらず工学システム基礎実験 A, B を履修することを許可する。対象の学生は工学システム基礎実験 A を履修すること。

5 環境開発工学主専攻で、建築士試験受験資格を得ようとする学生

材料学 I (材料学基礎, 応用材料学), 設計計画論, 材料力学 I (材料力学基礎, 応用材料力学 I), 材料力学 II (応用材料力学 II), 振動工学 I (振動工学), 防災工学の履修に際し、以下の説明と履修要覧を参照して履修申請をすること。

a. 材料学 I (材料学基礎, 応用材料学) の履修について

2018 年度以前の入学者:

材料学 I (FG42231, 2.0 単位) が開講されている。この科目が、建築士試験受験資格取得のための指定科目である。なお、本科目の講義内容は、材料学基礎および応用材料学と同一である。

b. 設計計画論の履修について

2015年度以前の入学者:

設計計画論 (FG43811, 1.0 単位) が開講されている. この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である.

2016年度～2018年度の入学者:

設計計画論 (FG43821, 1.5 単位) が開講されている. この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である.

c. 材料力学Ⅰ（材料力学基礎, 応用材料力学Ⅰ）の履修について

2018年度以前の入学者:

材料力学Ⅰ (FG45414, 2.0 単位) が開講されている. この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である. なお, 本科目の講義内容は, 材料力学基礎および応用材料力学Ⅰと同一である.

d. 材料力学Ⅱ（応用材料力学Ⅱ）の履修について

2018年度以前の入学者:

材料力学Ⅱ (2.0 単位) が開講されている. この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である. なお, 本科目の講義内容は, 応用材料力学Ⅱと同一である.

e. 振動工学Ⅰ（振動工学）の履修について

2018年度以前の入学者:

振動工学Ⅰ (2.0 単位) が開講されている. この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である. なお, 本科目の講義内容は, 振動工学 (3.0 単位) の秋 AB モジュールの講義内容と同一である.

f. 防災工学の履修について

2018年度以前の入学者:

防災工学 (FG45821, 1.5 単位) が開講されている. この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である. なお, 本科目の講義内容は, 防災工学 (FG45751:2.0 単位) の 1.5 単位分と同一である.

6 同一名科目について

筑波大学では、異なる学類で、同一名の講義が開講されていることがある。原則として、同一名科目は、その中の1科目のみを卒業要件とすることができる。